

■殺虫殺菌剤：農業用

ネオニコチノイド系・ジアミド系・チアジアゾールカルボキサミド系

ルーチントレス[®]箱粒剤

登録番号：22915

毒性：—

消防法：—

有効年限：4年

成分 イミダクロプリド……2.0%
クロラントラニプロール……0.75%
イソチアニル……2.0%

物理的・化学的性状 類白色細粒

包装：1kg×12 10kg×1

◆特長

- 育苗箱処理でもち病、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ウンカ類、フタオビコヤガなどに対して高い防除効果を示します。
- 殺菌剤イソチアニルと新技術「CR（コントロールリリース）」を適用したイミダクロプリド、チョウ目およびイネドロオイムシに高い効果を示すクロラントラニプロールにより、水稻の主要病害虫防除が可能になりました。
- 新規殺菌剤イソチアニルは病害抵抗性誘導型殺菌剤のため、耐性菌リスクが小さい薬剤です。
- 新規殺虫剤クロラントラニプロールは既存殺虫剤の抵抗性害虫に高い効果を示します。
- いずれの有効成分も優れた浸透移行性と長期残効性を有しています。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農業の総使用回数	クロラントラニプロールを含む農業の総使用回数	イソチアニルを含む農業の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60 ×3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り 50g	は種前	1回	育苗箱の 床土又は 覆土に均 一に混和 する。	3回以内 (移植時ま での処理は1回 以内、本田 での散布は2回 以内)	1回	3回以内 (移植時ま での処理は1回 以内、本田 では2回以内)
	イネアザミウマ イネツトムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネヒメハモグリハエ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ いもち病							
	穂枯れ (ごま葉枯病菌) 白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時 (覆土前) ～ 移植当日		育苗箱の 上から均 一に散布 する。			
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)		は種時 (覆土前)					
内穎褐変病		移植当日						

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1) 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用すること。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないこと。
- (2) 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前及びは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用をさけること。
- (3) 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (4) 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意すること。
- (5) いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないこと。
- (6) きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布すること。
また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけること。
- (7) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

- (1) 誤食などのないように注意すること。
- (2) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

◆魚毒性

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- (2) 散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。